ご挨拶:世界的な動向として、学校では学問の基礎を学ぶだけでなく、社会で学び続けるための資質・能力を身につけるという考え方が広まりつつあります。こうした中、本シンポジウムでは21世紀型スキルに関連した深い学びを目指した研究や、失敗を活用できる資質・能力の育成につながる研究を、基礎と実践の両面から取り上げます。皆様のご参加を心待ちにしております。

大阪を活用できる をリションIII: 失敗を活用できる

14:00-16:30 <司会:市川伸一(東京大学)>

「テストのフィードバック情報の 活用の分析」 鈴木 雅之(昭和女子大学)

「教訓帰納の質と その個人差」 柴 里実(東京大学)

「リアクションペーパーによる 授業後の理解深化」 篠ヶ谷 圭太(日本大学)・小山 義徳(千葉大学)

16:40-17:30 総合討論

17:30-17:40 開会挨拶···Emmanuel Manalo(京都大学)

終了後、1時間程度の茶話会(無料)がございます。

【共催】「失敗を学習に活かす」(科研基盤B.代表:市川伸一〈東京大学〉) "Understanding, measuring, and promoting crucial 21st century skills: Global communication, deep learning, and critical thinking competencies"(科研基盤A.代表:Emmanuel Manalo〈京都大学〉)

後援:東京大学大学院学校教育高度化センター

21世紀型スキルにつながる深い学びの促進

10:00-10:10 開会挨拶…市川伸一(東京大学)

10:00-12:30 <司会:瀬尾美紀子(日本女子大学)>

「教えて考えさせる授業による 生徒の議論力の向上」 植阪 友理(東京大学)

「家庭学習における 図表を用いた説明活動」 Emmanuel Manalo(京都大学)

「児童の問いを活かした 道徳授業」 小山 義徳(千葉大学) 一世紀に求められる学力と学習――

日時... 2016年3月12日 (土)

場所... 東京大学本郷キャンパス 赤門総合研究棟A200番教室

申込方法

お申し込みURL(参加無料):

http://www.schoolexcellence.p.u-tokyo.ac.jp/event/848/(右のQRコードからアクセスできます)

お問い合わせ: v uesaka@p.u-tokyo.ac.ip(植阪)



た